



報道発表

平成 28 年 9 月 9 日
東 京 税 関

健康や安全に悪影響を及ぼす物品の差止めが高水準 ～平成 28 年上半期の東京税関における知的財産侵害物品の差止状況～

平成 28 年上半期（平成 28 年 1 月～6 月）の東京税関における偽ブランド品等の知的財産侵害物品の差止状況は、次のとおりです。

1. 1 日平均 26 件、450 点を差止め

- ・ 輸入差止件数は 4,691 件（前年同期比 0.9%増）で、輸入差止点数は 81,785 点（前年同期比 38.2%減）でした。
- ・ 1 日平均で約 26 件、450 点の知的財産侵害物品を差し止めていることになります。

2. 中国来が依然として高い水準

- ・ 中国来の知的財産侵害物品の差止件数は 4,312 件（前年同期比 4.7%増、構成比 91.9%）、差止点数は 67,701 点（前年同期比 38.8%減、構成比 82.8%）。件数ベースで中国は平成 19 年以降、最大の仕出国となっており、仕出国別の構成比で約 9 割を占め、依然として高い水準が続いています。

3. 健康・安全に悪影響を及ぼす物品の差止め点数が過去最高

- ・ 健康や安全に悪影響を及ぼす知的財産侵害物品（医薬品、化粧品、運動・健康器具、自動車及び付属品、バッテリー等）の差止め点数は約 25,000 点（前年同期比 4.7%増）。上半期公表を開始した平成 23 年以降、最高の点数となります。

【お問い合わせ先】

東京税関 税関広報広聴室
TEL 03-3599-6264 FAX 03-3599-6442

平成28年上半期の知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

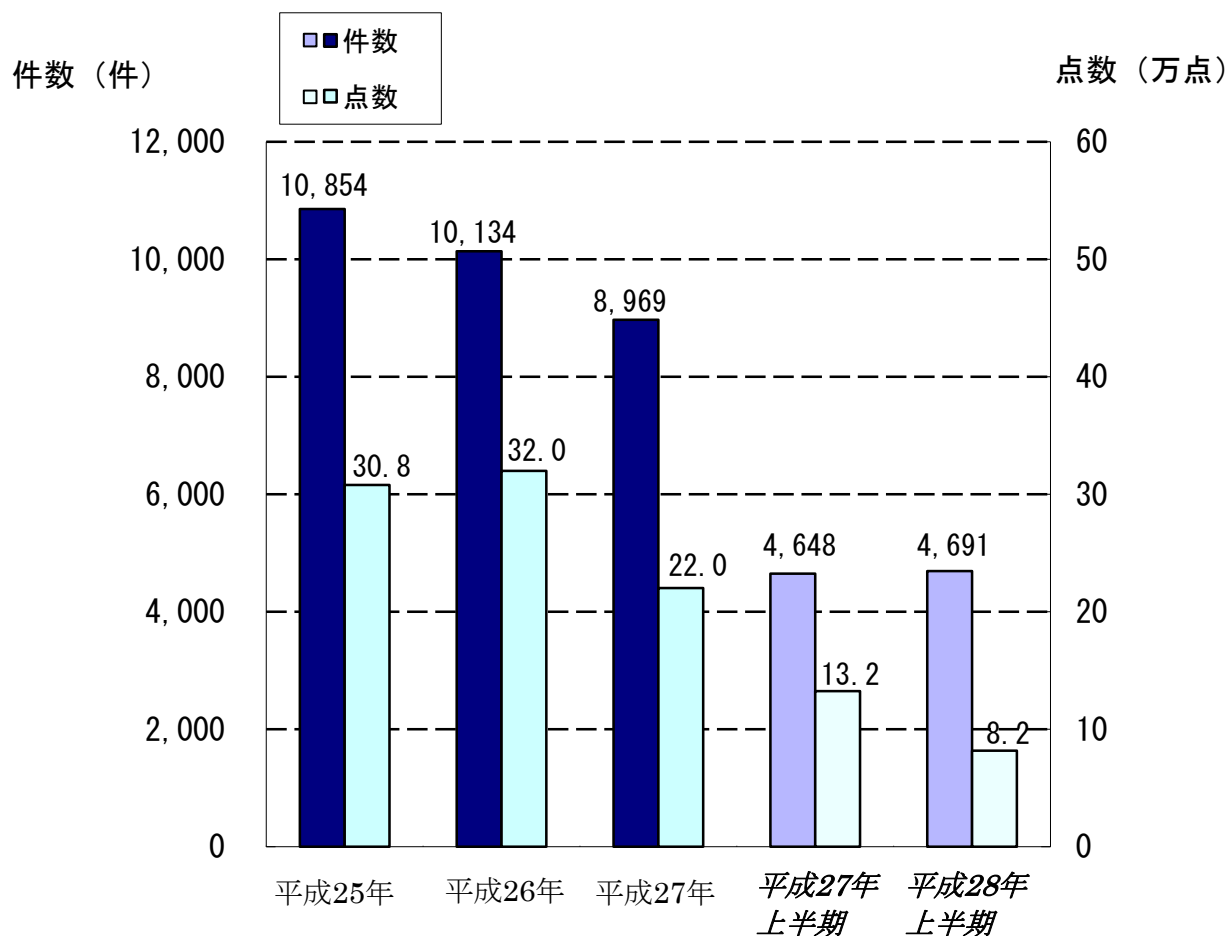
- 輸入差止件数は4,691件で、前年同期比で0.9%増加しました。
- 輸入差止点数は81,785点で、前年同期比で38.2%減少しました。
- 1日平均でみると約26件、約449点の知的財産侵害物品を差し止めていることになります。

「差止件数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の輸入申告及び郵便物の数です。

「差止点数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の数です。

例えば、1つの輸入申告において、20点の知的財産侵害物品が含まれていた場合は、1件20点として計上しています。

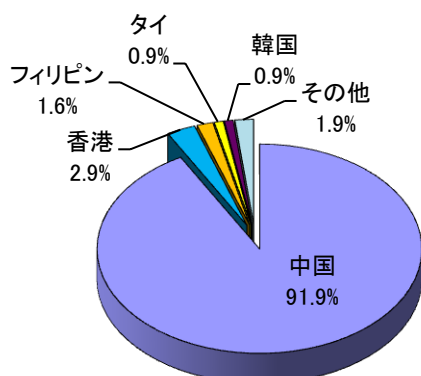
知的財産侵害物品の輸入差止実績（平成25年～平成28年上半期）



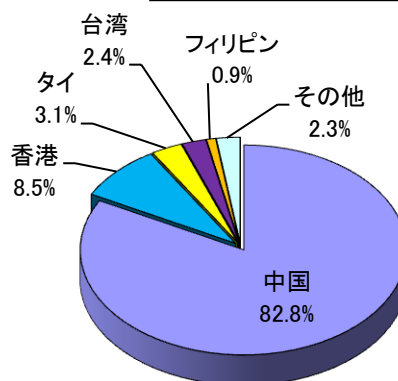
○仕出国（地域）別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、中国来が4,312件（前年同期比4.7%増、構成比91.9%）と全体の9割強を占めています。次いで香港来が134件（前年同期比54.7%減、構成比2.9%）、フィリピン来が75件（前年同期比12.8%減、構成比1.6%）となりました。
- 輸入差止点数は、中国来が67,701点（前年同期比38.8%減、構成比82.8%）、次いで香港来が6,977点（前年同期比42.9%減、構成比8.5%）、タイ来が2,518点（前年同期比16.7%増、構成比3.1%）となりました。

仕出国(地域)別差止実績
構成比(件数ベース)



仕出国(地域)別差止実績
構成比(点数ベース)

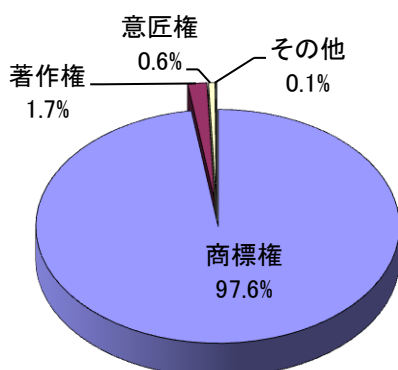


(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%とならない場合があります。

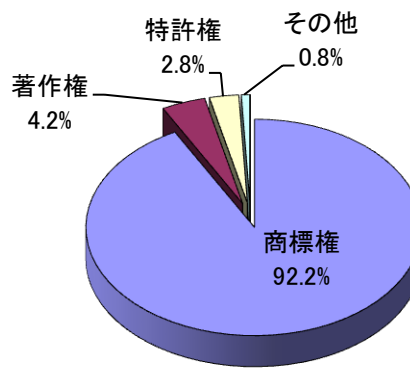
○知的財産別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、例年同様、偽ブランドバッグ等の商標権侵害物品が4,606件（前年同期比0.5%増、構成比97.6%）で大半を占めています。次いでキャラクターグッズ等の著作権侵害物品が79件（前年同期比3.7%減、構成比1.7%）、デザインを模倣した意匠権侵害物品が27件（前年同期比125.0%増、構成比0.6%）となりました。
- 輸入差止点数は、商標権侵害物品が75,379点（前年同期比41.7%減、構成比92.2%）、次いで著作権侵害物品が3,441点（前年同期比61.5%増、構成比4.2%）、発明品である特許権侵害物品が2,299点（前年同期比9,096.0%増、構成比2.8%）、となりました。

知的財産別差止実績構成比
(件数ベース)



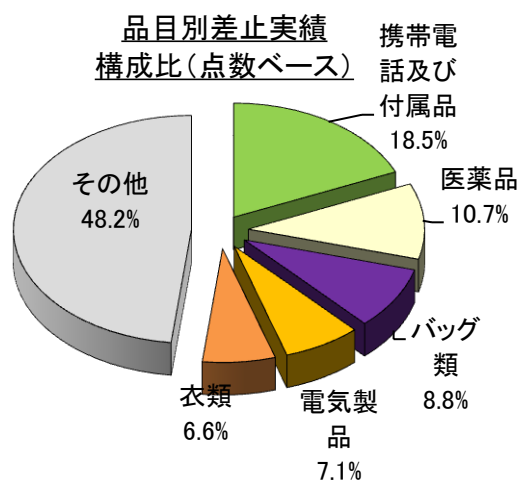
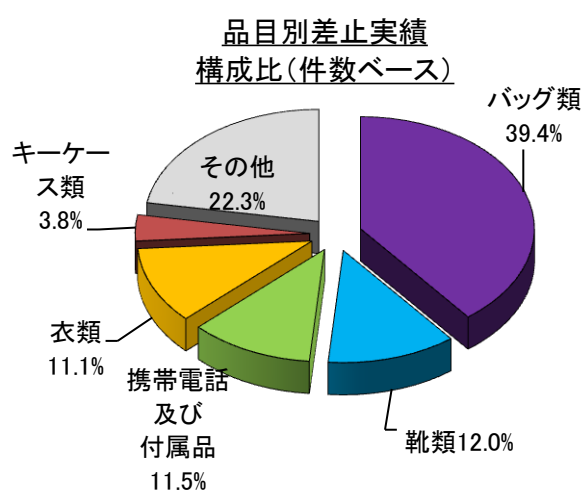
知的財産別差止実績構成比
(点数ベース)



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%とならない場合があります。

○品目別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、バッグ類が 2,116 件（前年同期比 25.9%増、構成比 39.4%）、靴類が 644 件（前年同期比 22.4%減、構成比 12.0%）、携帯電話及び付属品が 615 件（前年同期比 10.0%増、構成比 11.5%）、衣類が 595 件（前年同期比 8.6%増、構成比 11.1%）、キーケース類が 202 件（前年同期比 44.3%増、構成比 3.8%）となりました。
- 輸入差止点数は、携帯電話及び付属品が 15,130 点（前年同期比 51.4%減、構成比 18.5%）、医薬品が 8,783 点（前年同期比約 26.9%減、構成比 10.7%）、バッグ類が 7,231 点（前年同期比 26.2%減、構成比 8.8%）、電気製品が 5,840 点（前年同期比 0.9%減、構成比 7.1%）、衣類が 5,401 点（前年同期比 25.9%減、構成比 6.6%）となりました。

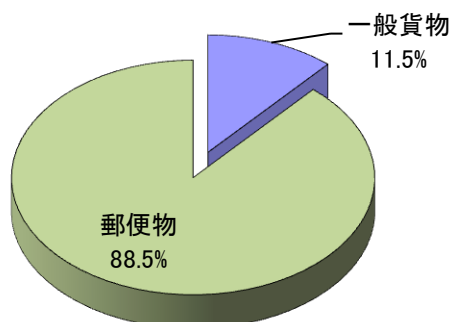


(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

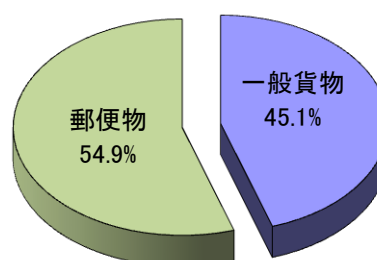
○輸送形態別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、例年同様、郵便物が大半を占めており、郵便物が 4,152 件（構成比 88.5%）、一般貨物が 539 件（構成比 11.5%）となりました。
- 輸入差止点数は、郵便物が 44,939 点（構成比 54.9%）、一般貨物が 36,846 点（構成比 45.1%）となりました。

輸送形態別差止実績構成比
(件数ベース)



輸送形態別差止実績構成比
(点数ベース)



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

○消費者の健康・安全に悪影響を及ぼす知的財産侵害物品

- 知的財産侵害物品の中には、健康被害のおそれのある物品や使用中に事故等を起こす危険性のある物品（医薬品、化粧品、運動・健康器具、自動車及び付属品、バッテリー等）があり、平成28年上半期における差止点数は前年同期比で増加傾向にあります。

健康・安全に悪影響を及ぼす知的財産侵害物品の差止め実績の推移
(平成25年～平成28年上半期)

